

平成25年6月

各 幼稚園・保育園・幼保園長 様
各 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校長 様

中国地方放送教育研究大会実行委員会

第50回中国地方放送教育研究大会 島根(松江)大会

平成25年8月8日(木)

サンラポーむらくも(松江市殿町369番地 TEL 0852-21-2670)

大会主題

思考力・判断力・表現力を伸ばし、感性をはくくむメディア教育の在り方
～放送教育に視点を当てて～

- 主催 中国地方放送教育研究協議会/島根県メディア教育研究会
NHK松江放送局/全国放送教育研究会連盟
- 後援 島根県教育委員会/松江市教育委員会/安来市教育委員会/出雲市教育委員会/
雲南市教育委員会/鳥取県教育委員会/岡山県教育委員会/広島県教育委員会/
山口県教育委員会

8:30～9:00	受付	
	開会行事・オリエンテーション(概要説明)	
9:30	移動	
9:45	提案発表分科会(5分科会10提案発表)	
	<前半5分科会> 主に島根県からの提案発表	
	分科会 A-1 自ら学び、学びを生かす児童の育成	(島根)
	分科会 B-1 各教科のねらいを達成するための効果的な学校放送番組活用	(島根)
	分科会 C-1 社会の現実と向き合い、自ら考えることのできる子どもの育成	(島根)
	分科会 D-1 児童生徒の情報モラル教育の推進に向けて	(島根)
	分科会 E-1 「メディアのめ」を活用したメディアリテラシーの育成	(島根)
10:45	休憩・移動	
11:00	<後半5分科会> 主に中国各県からの提案発表	
	分科会 A-2 ICTを有効活用するための校内体制の在り方	(鳥取)
	分科会 B-2 ICTの適切な活用による指導効果を高める指導法	(広島)
	分科会 C-2 気づく・つなげる・深まる・広がる放送番組の可能性を探る	(山口)
	分科会 D-2 技術・家庭科を核に学校全体で取り組む情報モラル教育	(岡山)
	分科会 E-2 「メディアのめ」を活用したメディアリテラシーの育成	(島根)
12:00	昼食・休憩	
13:00	校種別分科会	NHK番組制作ディレクター(NHK) 浅井和行氏(京都教育大学大学院教授) 佐藤和紀氏(東京都北区立豊川小学校教諭) 藤村裕一氏(鳴門教育大学大学院准教授)
	幼稚園部会	
	小学校部会	
	中学校・高等学校部会	
14:30	休憩	
14:45	総括講演 藤村裕一氏 「ICTが生きる学校放送番組の活用」 ～校務の情報化を踏まえて～	
16:00	閉会行事	
16:15		

■ 大会主題

思考力・判断力・表現力を伸ばし、感性をはぐくむメディア教育の在り方
～放送教育に視点を当てて～

学ぶことの楽しさや喜びを喚起させたり、学習者の感性に触れ、思考活動を揺り動かし、豊かな心を育んでいくことが求められている今日。学校放送番組やICT機器を活用することによりこの課題に取り組みます。中国各県の実践を持ち寄り、ともに学んでいきたいと思ひます。

皆様のご参加を心からお持ちしております。

■ 講師

藤村 裕一 氏

鳴門教育大学大学院准教授



- 専門は教育工学、情報教育（校務の情報化・学校情報セキュリティ）
- 文部科学省「学校教育の情報化に関する懇談会教員支援WG」委員
- 文部科学省「情報モラル教育の在り方に関する調査研究委員会」主査
- NHK ティーチャーズライブラリー委員長、番組委員など

浅井 和行 氏

京都教育大学大学院教授



- 専門は教師教育、メディア教育
- 2012年より京都教育大学附属桃山小学校長を兼任。
- 文部科学省「学校教育の情報化に関する懇談会教員支援WG」委員、日本ネット安全モラル学会副会長など
- NHK学校放送番組「みんな生きている」「メディアのめ」等の番組企画委員

■ 提案発表分科会<5分科会10提案発表>

A 日常的なICT活用を図るために、校内の体制をどのようにすればよいか

分科会 No	テーマ	放送番組・機器	提案者
A-1 (前半)	自ら学び、学びを生かす児童の育成 ～ICTを効果的に活用した授業を通して～	機 電子黒板 実物投影機	安部喜三子 教諭 (鳥根・飯南町立来島小学校)
A-2 (後半)	ICTを有効活用するための 校内体制の在り方	機 電子黒板 放 Eテレ「ふしぎがいっぱい」	久城 達也 教諭 (鳥取・日南町立日南小学校)

B 各教科等のねらいを達成するために、学校放送番組をどのように活用すればよいか

分科会 No	テーマ	放送番組・機器	提案者
B-1 (前半)	児童の発信力を高める ICTを活用した授業づくり	機 電子黒板 放 Eテレ「伝える極意」	中川 貴如 教諭 (鳥根・浜田市立松原小学校)
B-2 (後半)	ICTの適切な活用による 指導効果を高める指導法 ～NHK学校放送番組とデジタル教材を活用した授業づくり～	放 Eテレ 「おはなしの くにクラシック」	信川 裕司 教諭 (広島・広島市立三田小学校)

C

日常的な学校放送番組の視聴により、子どもの活動がどのように広がるか

分科会 No	テーマ	放送番組・機器	提案者
C-1 (前半)	社会の現実と向き合い、自ら考えることのできる子どもの育成 ～NHK 学校放送番組「道徳ドキュメント」の活用を通して～	放 E テレ 「道徳ドキュメント」	大坂 慎也 教諭 (島根・島根大学附属小学校)
C-2 (後半)	幼・小における学びの具現化を目指して ～NHK 学校放送番組「道徳ドキュメント」の活用を通して～	放 E テレ 「しぜんとあそぼ」	富津田 香 教諭 (山口・岩国市立岩国東幼稚園)

D

情報モラル教育に学校放送番組をどのように生かしていくか

分科会 No	テーマ	放送番組・機器	提案者
D-1 (前半)	児童生徒の情報モラル教育の推進に向けて ～福徳郡小中学校教育研究会メディア部会の取組より～	放 E テレ 「道徳ドキュメント」 たのしいケータイ こわいケータイ	吉田 司 教諭 (島根・福島の島可立西郷小学校)
D-2 (後半)	技術・家庭科を核に学校全体で取り組む情報モラル教育	放 ケータイ・ネット 社会の落とし穴、ネットいじめに向き合うために	平松 高志 教諭 (岡山・総社市立総社東中学校)

E

メディアリテラシーを高めるために、学校放送番組をどのように活用するか

分科会 No	テーマ	放送番組・機器	提案者
E-1 (前半)	NHK 学校放送番組「メディアのめ」を活用したメディアリテラシーの育成	放 E テレ 「メディアのめ」	大久保紀一朗 教諭 (島根・江津市立津宮小学校)
E-2 (後半)	NHK 学校放送番組「メディアのめ」を活用したメディアリテラシーの育成	放 E テレ 「メディアのめ」	森下 博之 教諭 (島根・大田市立仁摩中学校)

■ 校種別分科会<幼・小・中高の3分科会>

校種	テーマ	コーディネーター
幼稚園	・学校放送番組と日常の活動をどう連携させるか？ ・小学校との連携をどのように図っていくか？ ・実体験と学校放送番組の有機的な連携の方法は？	NHK 番組制作ディレクター
小学校	・教科のねらいを達成するための有効な活用方法は？ ・デジタルテレビがない環境での学校放送番組の活かし方は？ ・幼稚園との連携をどのように図っていくか？	浅井和行氏 (京都教育大学大学院教授) 佐藤和紀氏 (東京都北区立豊川小学校教諭)
中学校 高等学校	・学校放送番組が有効に活用されている教科は？ ・全国での活用事例の紹介 ・総合的な学習の時間、道徳の時間での有効な活用方法は？	藤村裕一氏 (福岡教育大学大学院准教授)

■ 参加料 無料

■ 会場周辺地図



■ 市内その他の宿泊施設

松江ニューアーバンホテル別館	0852-23-0003
大橋館	0852-21-5168
東横イン松江駅前	0852-60-1045
松江駅前ユニバーサルホテル	0852-28-3000
松江ユニバーサルホテル別館	0852-25-8100

■ アクセス

- JR 松江駅から会場（サンラポーむらくも）まで
 - ・タクシー
 - （JR 松江駅－サンラポーむらくも 約10分）
 - ・松江市営バス
 - （2番バス乗場－県民会館前下車すぐ12分）
 - ・会場には十分な駐車スペースがありませんので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

■ 宿泊（サンラポーむらくも← 大会・レセプション会場）

- ※宿泊予約やお支払いは各自で直接お願いします。
- サンラポーむらくも**
- （公立学校共済組合松江宿泊所 TEL 0852-21-2670）
- S 7045円 T 6583円 いずれも朝食付
- ※宿泊利用補助券をご利用の場合は、チェックインの際にフロントまでご提出ください。
- ※サンラポーむらくもは7月19日まではお部屋を事務局で仮予約して（押さえて）いますので、各自でお申し込みください。その際には「放送教育」でのご宿泊であることをフロントにお伝えください。
- ※サンラポーむらくもが満室になった場合や他の宿泊施設をご希望の場合は、左記をご参考の上、松江市内のホテルや旅館を各自でご予約くださいますようお願いいたします。

■ お支払い

レセプション（懇親会 大会前日8月7日19時からサンラポーむらくも内にて）の参加費はレセプション会場で、弁当代は大会当日の受付にてお支払いをお願いします。

■ 参加申し込み 及び 問い合わせ先（申し込みみ切り 7月31日）

大会ホームページ <http://mediashimane2.web.fc2.com/>

大会の詳細 <http://facebook.com/media.shimane/>

から下記の様式により、E-mailで事務局宛 mediashimane@gmail.com にお申し込み下さい。
問い合わせもできるだけ E-mail でお願います。

中国地方放送教育研究大会実行委員会 出雲市立檜山小学校 FAX・TEL (0853) 63-2615
事務局 Eメール mediashimane@gmail.com

平成25年度中国地方放送教育研究大会島根（松江）大会申込様式

所属	
TEL	
E-mail	

氏名	提案発表分科会	校種別分科会	弁当(○×)	レセプション(○×)	交通手段
島根太郎	A-1・B-2	中学・高校	○	○	自家用車
	.				
	.				
	.				